

## 研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム

### 産学共同(育成型) 事後評価結果

体系的課題番号	: JPMJTR20US
採 択 年 度	: 2020 年度
分 野	: アグリ・バイオ
研究開発課題名	: 環状ペプチドの効率的合成方法の開発
プロジェクトリーダー 研究責任者	: 脇本 敏幸(北海道大学)

#### 評価結果の総合所見

本課題は、短鎖～中鎖環状ペプチド基質に適用可能な環化酵素群の探索、高効率かつ大量合成に適した生体触媒の開発を目指すものである。

目標を達成し、企業との共同研究も進んでおり、次の研究開発フェーズ移行に十分な成果が得られている。イノベーション創出が期待できる。

4 種の新規なペプチド環化酵素を獲得し、それらの詳細な解析と改良を行い、従来の酵素では不可能なペプチド基質を用いた合成が可能になったことは、高く評価できる。医薬品原料メーカーとのさらなる情報交換や協力が重要である。

以上